

【重要】

新型コロナワクチンの職域接種について、各大学等が実施する際の申請手順等を整理しましたので、お知らせします。各大学等においては本件について留意いただくとともに、申請にあたっては事前に文部科学省に対して必ず御相談いただきますようお願いします。

事 務 連 絡
令和 3 年 6 月 8 日

各 国 公 立 大 学 法 人 担 当 課
大学又は高等専門学校を設置する各地方公共団体担当課
各 文 部 科 学 大 臣 所 轄 学 校 法 人 担 当 課 御 中
大学を設置する各学校設置会社担当課
独立行政法人国立高等専門学校機構担当課

文部科学省高等教育局高等教育企画課

教職員や学生等を中心に大学等が主体となって実施する
新型コロナワクチンの職域接種の申請手順等について（周知）

各法人においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置の実施について、適切に対応していただき、誠にありがとうございます。

先日、6月1日に内閣官房長官より、「ワクチン接種に関する地域の負担を軽減し、接種の加速化を図っていくため6月21日から企業や大学等において、職域（学校等を含む）単位でワクチンの接種を開始することを可能とする」旨の発表があり、各大学・高等専門学校（以下「大学等」という。）においても、職域接種の開始に向け、既に様々な検討をしていただいていると存じます。また、6月7日に内閣官房長官より、「8日から、企業や大学などからの申請の受け付けを開始する」旨の発表があったところです。

この度、文部科学省において、各大学等が実施する新型コロナワクチン職域接種に係る申請手順等を整理しましたので、下記のとおりお知らせします。

国公立大学法人におかれてはその設置する大学等に対して、大学又は高等専門学校を設置する地方公共団体及び文部科学大臣所轄学校法人におかれてはその設置する大学等に対して、大学を設置する学校設置会社におかれてはその設置する大学に対して、独立行政法人国立高等専門学校機構におかれてはその設置する高等専門学校に対して本件について周知くださいますようお願いいたします。

記

1. 文部科学省では、各大学等におけるワクチン接種の検討に関し、各大学等の取組を支援し、各大学等との連絡・調整を行う観点から、「大学等ワクチン接種加速化検討チーム」を設置し、本チーム内に各大学等との連絡・調整を行う「大学班」を設けました。

当面の対応として、各大学等におかれては、以下の対応をお願いします。

- ① 各大学等において、職域接種を行うことを検討している場合、職域接種の申請を専用 WEB 入力フォームにおいて行っていただく必要がありますが、申請を行う前（別紙 2 における Step1 の前）に、まずは各大学等の検討状況を大学等ワクチン接種加速化検討チームの「大学班」に対して御相談ください。その際、別紙 3 及び別紙 4 に必要事項を記入の上、「大学班」のメールアドレスに御提出ください。

今回の職域接種については、各大学等において医療系人材を確保できる場合に実施が可能になるものです。従って、「大学班」に対して御連絡いただく際には、医療系人材と施設をセットで提供する場合なのか、それとも、自大学の施設において他の医療機関や医療系人材を有する他大学等と連携して会場開設を実施する場合なのかを併せてお知らせいただくようお願いします。

- ② 各大学等において、ワクチン接種の取組を公表する場合には、文部科学省においても公表する等の対応が必要になりますので、事前に「大学班」との調整をお願いします。
- ③ 「大学班」との相談後、別紙 2 における Step1 のとおり、各大学等で必要事項を WEB 入力フォームに入力ください。その後、都道府県及び厚生労働省において受理・確認を行います（Step2）ので、厚生労働省から Step2 の後に確認完了の連絡がまいりましたら、再度「大学班」にもその旨連絡いただきますようお願いします。

【担当者連絡先】

文部科学省 03-5253-4111（代表）

E-mail: daigaku-vaccine@mext.go.jp

大学等ワクチン接種加速化検討チーム大学班

第一係：北海道・東北エリア担当（内線：3149, 3162）

第二係：関東・甲信越エリア担当（内線：4594, 4617）

第三係：東海・北陸・近畿エリア担当（内線：4964, 4601）

第四係：中四国・九州・沖縄エリア担当（内線：4608, 4609）

【新型コロナワクチンの職域接種の総合窓口】

Web入力フォームについてはこちらに掲載されていますので、職域接種を実施する場合、「大学班」との相談後、各大学等において入力をお願いします。

https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/shokuiki_sesshu.html

2. 新型コロナワクチンの職域接種については、自治体における高齢者接種に一定の目途がついた段階で実施されるものであり、自治体からの要請に基づいて既にワクチン接種に協力している大学等においては、引き続き自治体接種に協力をお願いします。

また、各大学等における職域接種の実施にあたっても、国内におけるワクチン接種の加速化を図る観点から、自大学の教職員・学生の接種のみならず、その対象を拡大していく必要があると考えています。つきましては、医療系人材と施設等をセットで確保し、職域接種の実施を検討する大学等においては、以下のいずれかの者への接種拡大に関連する自治体と協議の上、御検討いただき、その予定を併せてお知らせいただくようよろしくお願いします。

なお、ワクチン接種は希望する者のみに実施されるものであり、被接種者等の同意が必要となります。

- 自大学以外の大学等・専門学校の教職員・学生等（ワクチン接種を義務化している海外の大学に、学位取得を目的とした留学を予定している者で、文部科学省より接種対象者として要請した者を含む）
- 近隣の幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校などの教育関係職員
- 近隣に所在している住民 等

※ ただし、各大学等の所在地によっては、地理的な問題等により、上記の接種拡大を図ることが困難な場合も考えられます。そのような場合には、都道府県や市区町村からの要請内容を踏まえ、柔軟な対応も考えられるため、個別にご相談ください。

< 添付資料 >

- 【別紙 1】職域接種の概要
- 【別紙 2】職域接種の申請手順
- 【別紙 3】専用フォーム様式
- 【別紙 4】大学等を活用したワクチン接種の拡大方策に係る文部科学省相談様式
- 【別紙 5】医療系の学部等を置かない大学におけるワクチン接種体制構築の例
- 【別紙 6】令和 3 年 5 月 18 日 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に
対して各大学の施設等の活用に向けた状況等について（調査）
- 【別紙 7】令和 3 年 6 月 3 日 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関
する職域接種の要望確認について（調査）

< 本件連絡先 >

文部科学省 03-5253-4111（代表）

E-mail: daigaku-vaccine@mext.go.jp

【ワクチン接種全般について】

大学等ワクチン接種加速化検討チーム企画調整班（内線：3341）

【個別大学等に係ることについて】

大学等ワクチン接種加速化検討チーム大学班

第一係：北海道・東北エリア担当（内線：3162）

第二係：関東・甲信越エリア担当（内線：4617）

第三係：東海・北陸・近畿エリア担当（内線：4601）

第四係：中四国・九州・沖縄エリア担当（内線：4609）

パターン1 企業内診療所で実施

- ・企業内の既存の診療所を活用

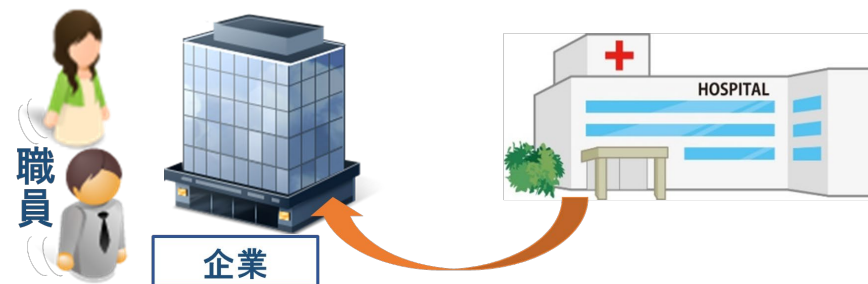
契約者：企業又は企業内診療所



パターン2 外部機関が出張して実施

- ・外部の医療機関が企業内の会議室などで実施
- ・実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い

契約者：医療機関（巡回診療所等）
※新規に医療機関を開設するケースも想定される



パターン3 外部機関に出向いて実施

- ・企業が指定した医療機関で実施
 - ・実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い
- ※地域の予防接種体制に影響を与えないことに留意

契約者：医療機関（地域の医療機関）



職域接種とは

- (1) 地域の負担を軽減し、接種の加速化を図るため、賛同する企業や大学等において職域単位での接種を可能とする。
- (2) 医療従事者や会場などは企業や大学等が自ら確保し、自治体の接種事業に影響を与えないこと。

企業等に求めること（実施要件）

- (1) 医師・看護師等の医療職の他、会場運営のスタッフ等、必要な人員を企業や大学等が自ら確保すること。
また、副反応報告などの必要な対応を行うことができること。
- (2) 接種場所・動線等の確保についても企業や大学等が自ら確保すること。
- (3) 社内連絡体制・対外調整役を確保すること。（事務局を設置すること。）
- (4) 同一の接種会場で2回接種を完了すること、最低2000回（1000人×2回接種）程度の接種を行うことを基本とする。
- (5) ワクチンの納品先の事業所でワクチンを保管の上、接種すること。

企業等が行うこと（準備から接種までの流れ）

＜準備＞ 上記実施要件を確保の上、専用ウェブ入力フォームに必要事項を入力。

国が代行・補助
(NEC(最終調整中))

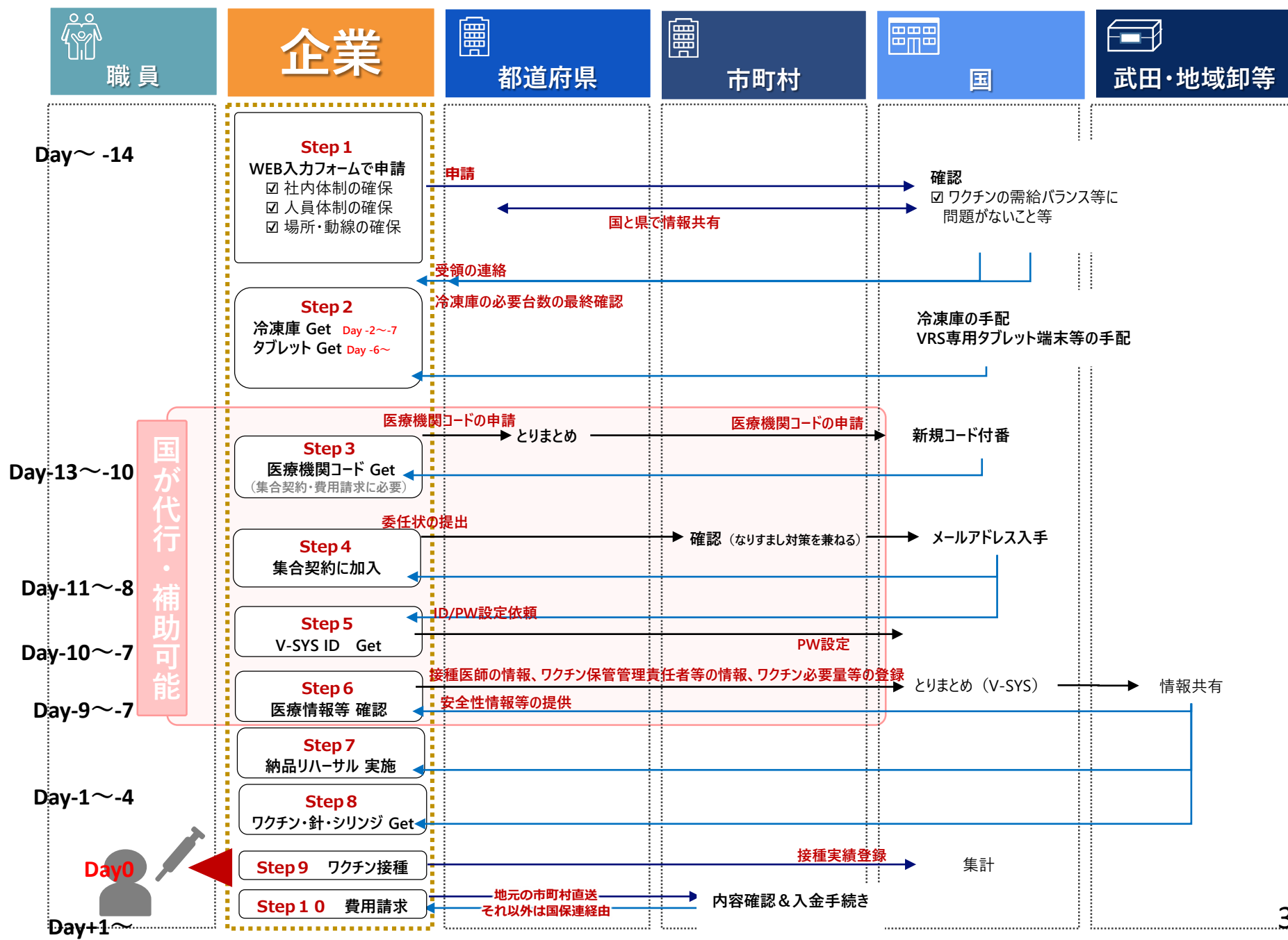
- 市町村との集合契約に必要な会場ごとのコードを付番申請する。
- 集合契約への加入。
- 接種責任医師名、ワクチン保管管理責任者等の必要情報をV-SYS上で登録する。
- -20℃冷凍庫を手配する。
- ワクチンの必要量等をV-SYS上に登録する。

＜最終準備＞ -20℃冷凍庫を設置。ワクチンの納品リハーサルを実施。

＜接種本番＞ ワクチン接種を実施。実績を報告。

＜費用請求＞ 費用請求を行い、後日、入金を確認。

職域接種の準備フロー図（暫定版）



会場における人員確保について

医師・看護師等の医療職の他、会場運営のスタッフ等、必要な人員を企業や大学等が自ら確保する必要があります。

＜具体的に必要な人数について（例）＞

- ・接種人数：400人/日　・接種時間：8時間（9時～18時※1時間休憩）
- ・3レーン設置　15人程度/1レーン/1h
- ・医師2名（問診）、看護師6名（接種3、予診票2、接種補助1）、事務職6名（受付2、誘導2、消毒等の対応2）、会場責任者1名

準備するもの、接種場所等について

会場を設置するに当たっては、接種場所・導線等についても企業や大学等が自ら確保いただくとともに、各種物品を確保いただく必要があります。

＜具体的な準備（例）＞

- （1）（医療機関でない場所で接種を実施する場合）医療法上の開設届け、巡回診療または新規開設の届出
- （2）会場レイアウトの作成、導線確認（6ページ参照）
- （3）卸売販売業者立ち会いのもと、ワクチンの配送リハーサルの実施
- （4）冷蔵庫（2℃～8℃）、消毒用アルコール綿、体温計、救急用品、針捨て容器　など

事務局で実施すること

企業において社内連絡体制・対外調整役を確保し、医療機関や都道府県等との連絡調整等を行っていただく必要があります。実際に接種を担当する医療機関等との役割分担を確認しつつ、円滑に接種会場を運営できるようにお願いします。

＜具体的に対応する必要がある事項（例）＞

- （1）従業員等のうち、接種を希望する者の把握、必要なワクチン量の算定
- （2）スケジュール設定（接種計画の作成）
- （3）会場運営にかかる企画・全体調整（医療機関、都道府県、ワクチンを配送する卸売販売業者等との連絡調整などを含む）
- （4）集合契約への加入等の行政手続き
- （5）医療機関と連携しつつ、予防接種に係る費用の請求

職域接種にあたり国で提供するもの

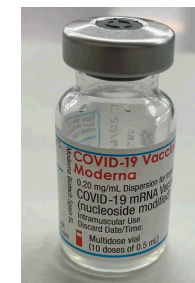
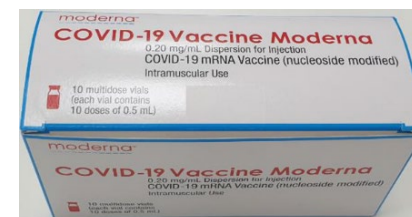
ワクチン保管用の冷凍庫

- (1) -20°C 冷凍庫と保管温度の記録計（データロガー）をご提供します。
- (2) 武田/モデルナ社ワクチンが最大2,400回接種分（バイアル単位で240本分）を保管できます。
- (3) 使用後は返却いただき、他社の接種時に再利用しますので、大切にご使用ください。



武田/モデルナ社ワクチン

- (1) 職域接種で使用するワクチンは武田／モデルナ社ワクチンです。
国から卸売販売業者を通じて、100回分を1単位として配送いたします。
- (2) -20°C で冷凍された状態で配送され、使用前に解凍が必要です。
- (3) 武田／モデルナ社ワクチンの基本情報
効能効果：新型コロナウイルス感染症の予防
接種対象者（年齢）：18歳以上 貯蔵方法： $-20 \pm 5^{\circ}\text{C}$ 、遮光
用法・用量：筋肉内に接種（2回） 接種間隔：4週の間隔
接種不適当者：本剤の成分に対し重度の過敏症の既往歴のある者 等



接種用の針・シリンジ

- (1) ワクチン接種に使用する針・シリンジをご提供します。
- (2) 針は1箱100本（83～118mm×93～113mm×75～93mmのサイズ）、
シリンジは1箱100本（126～380mm×120～378mm×68～150mmのサイズ）
で配送されますので、針・シリンジの在庫を置くスペースも考慮いただくようお願いします。



マスク・手袋等の個人防護具（PPE）

- (1) 各接種会場から配布希望があれば、ワクチン接種に使用するサージカルマスク・非滅菌手袋、緊急時使用備蓄として必要なN95等マスク・アイソレーションガウン・フェイスシールドを国から接種会場に直送いたします。
- (2) 各物資の配布量の目安は次のとおりです。それでも不足する場合は、接種会場所在市町村にご相談ください。
サージカルマスク：ワクチン接種回数×7÷100 （各従事者が毎日交換を想定）
非滅菌手袋 ：ワクチン接種回数+ワクチン接種回数÷100 （接種者は接種ごと、接種補助者は1日1回の交換を想定）
緊急時使用備蓄 ：1会場当たりそれぞれ20枚

(参考) 市町村が特設会場を設けた場合における接種の具体的なイメージ

令和3年1月25日
第2回自治体向け
説明会資料から改変

必要な準備

- 会場の確保 ※医療機関でない場所を接種会場として用いる場合は、診療所開設の届出等が必要
- 運営方法の検討：直営／委託、運営管理責任者の明確化、予約受付方法、応急対応の方法 等
- 従事者の確保
- ワクチン等の配送先の登録：V-SYSに配送場所、担当者名、担当者連絡先等の情報を登録
- 必要物品の確保・保管

当日の流れ

以下のうち、医師が必須なのは③予診のみ

① 受付

検温、身分証明書の確認、予診票記載の案内

② 予診票確認

記載項目の抜け漏れ・不備のチェック、（2回目接種の場合）接種間隔や1回目接種ワクチン種別の確認

③ 予診（医師）

体調や持病を確認する等必要な診察を接種前に行い、予防接種を受けることが適当でない者または予防接種の判断を行うに際して注意を要する者に該当するか否かの確認

④ 接種（看護師等）

薬液を充填する者（薬剤師等）も別に配置が必要

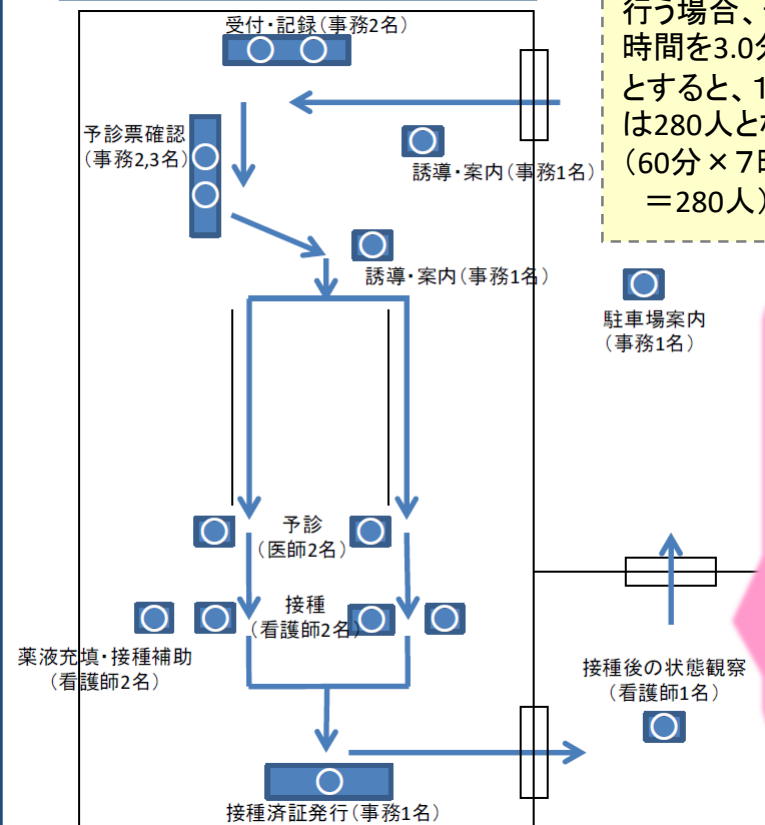
⑤ 接種済証の交付

接種したワクチンのワクチンシールを接種済証に貼用し、接種日・接種場所を記載する

⑥ 接種後の状態観察

アナフィラキシーや血管迷走神経反射等の症状が生じることがあるため、一定期間観察を行う

会場設営のイメージ



1会場あたり2列体制で接種を行う場合、予診から接種までの時間を3.0分、実施時間を7時間とすると、1日あたりの接種人数は280人となる
 $(60分 \times 7時間 \div 3.0分 \times 2列 = 280人)$

・ **少なくとも15分間**は被接種者の状態を観察
・ 重いアレルギー症状を引き起こしたことがある方、過去に採血等で気分が悪くなったり失神等を起こしたことがある方については**30分程度**、状態を観察する必要があるため、状態観察ができるスペースの確保が必要

ツインバード社

- (1) 商品名 (品番)
ディープフリーザー SC-DF25WL
(武田モデルナワクチン輸送標準機器と同じ)
- (2) 温度帯
設定温度 : $+10^{\circ}\text{C}$ ~ -40°C (1°C 刻みで温度設定可能)
- (3) サイズ・重量
内容量 : 25リットル、重量16.5Kg
外形寸法 : 幅 695 x 奥行 350 x 高さ 460 (mm)
内径寸法 : 幅 335 x 奥行 225 x 高さ 340 (mm)
- (4) ロガー情報
データ読み込みインターフェース : Bluetooth 5.0
スマートフォンで温度データ読み込み (iOS/Android対応)
※電池は約180日を目安に交換
- (5) 電源
壁コンセントから : SC-AD70 ACアダプター
車載時 : シガレットプラグケーブル (3m、DC12V)
※分岐ソケットや二股コンセント、又は延長コードは使用しないこと。
- (6) 設置場所
水平な場所に、蓋を上にして設置すること。
水のかからない場所に設置すること。
風通しがよく湿気の少ない場所に設置すること。
付属のマットを敷いて使用すること。
吸排気口は壁や障害物から20cm以上離して設置すること。
直射日光の当たらない場所や埃の少ない場所に設置すること。
- (7) お問い合わせURL : <https://www.twinbird-ec.jp>
お問い合わせ番号 (フリーダイヤル) : 0120-28-4625
- (8) 停電時
停電時 -20°C から -15°C までの時間 : 約25~30分

ディープフリーザー25L SC-DF25WL

主な特徴

- 軽量・コンパクト・可搬型
- 1°C 刻みの温度設定
- ノンフロン・CO2排出ゼロ
- 低消費電力



付属品：ロガー

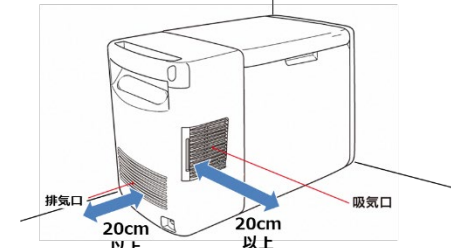


付属品：ACアダプター



設置場所

- 吸気口・排気口は、壁や障害物から20cm以上離して設置してください。



※注)仕様は予告なく変更される場合があります。ご注文前にご確認ください。

6月8日（火）から申請受付を開始します。

申請にあたり行って頂く主な作業は以下のStep 1 です。

申請は、専用WEB入力フォーム (<https://ova.gbiz.go.jp/>) に必要事項を入力していただきます。

申請等に関する相談等は業界・業種毎に所管省庁で受け付けます。

⇒ 【各省庁相談窓口】 <https://www.kantei.go.jp/jp/content/0000834801.pdf>

Step1

職域接種会場等の必要事項をWEB入力フォームに入力

- 必要事項は、(<https://ova.gbiz.go.jp/>) で御確認できます。

申請

以上で申請は完了です

受理

受理・確認

- 記載不備や確認事項等があれば、登録された代表者へ連絡します
- 申請内容は、国・都道府県で共有します
- 確認が完了した際には、登録された代表者へ連絡します

連絡・代行

Step3

職域接種会場等が行う以下の業務を国が代行・補助します

- 医療機関コード申請
- 市町村との集合契約への加入
- V-SYS(ワクチン配送システム)IDの取得・入力等手続き

配送

Step4

国から職域接種会場へ物品※を配送します

※ -20℃冷凍庫、ワクチン、針・シリンジ等

配送

Step5

接種開始

※内閣官房ホームページ「新型コロナウイルスの職域接種の総合窓口」より

本登録申請用記入フォーマット

v1.0

接種会場情報（1/5）						
申請先（接種会場がある都道府県を選択）						
	項目名	記入例	必須	記入欄	申請時の入力方法	特記事項
(1)	都道府県	東京都	○		選択肢	
接種会場情報（接種に関わる物品は基本的にこちらの住所に配送します）						
(2)	郵便番号	1008916	○		数値入力	
(3)	市区町村コード	131016	○		数値入力	5又は6桁の数字を入力ください。
(4)	市区町村	千代田区	○		テキスト入力	
(5)	番地等（建物名・部屋番号含む）	霞が関1-2-3 ○○ビル 4F-401	○		テキスト入力	
(6)	会場名称	〔職域〕株式会社○○○○職域接種会場	○		テキスト入力	自治体による職域会場名称と区別するため、先頭に「〔職域〕」を付けてください。
(7)	エレベーターの有無	有	○		選択肢	
(8)	接種会場で現在ファイザーワクチンを使用しているか	いいえ	○		選択肢	
接種体制情報（2/5）						
接種体制						
(9)	分類	01_企業内診療所で実施	○		選択肢	
(10)	地域の予防接種に影響を与えないか	与えない	○		選択肢	
(11)	主な人員の提供元	外部クリニック			テキスト入力	
(12)	後方支援病院名称	●●病院			テキスト入力	医療機関へ後方支援の依頼があればご入力ください。
(13)	動線・設備の確保状況	ほぼ確保済み	○		選択肢	
(14)	消耗品の確保状況	ほぼ確保済み	○		選択肢	
(15)	その他の備品の確保状況	ほぼ確保済み	○		選択肢	
巡回診療か医療機関の開設か（接種体制（分類）で03以外を選択した場合、入力）						
(16)	種別	巡回診療			選択肢	既存の企業内診療所で実施する場合も「医療機関を開設」を選択。
(17)	届出の有無	既に届出済み			選択肢	
外部医療機関情報（接種体制（分類）で01以外を選択した場合、入力）						
(18)	医療機関名	外部クリニック			テキスト入力	
(19)	代表者名	外部 代表			テキスト入力	
(20)	代表電話番号	03-1111-1111			テキスト入力	
(21)	担当者の部署名	総務部			テキスト入力	
(22)	担当者の氏名	外部 担当			テキスト入力	
(23)	担当者の電話番号	090-1111-2222			テキスト入力	
(24)	担当者のメールアドレス	zzz@aaa			テキスト入力	
接種計画情報（3/5）						
接種計画						
(25)	総接種予定人数	10000	○		数値入力	2回接種する予定人数をご入力ください
(26)	週当たりの接種予定回数（開始当初（1～2週））	2000	○		数値入力	100-99900の回数を「100回分単位」でご入力ください。
(27)	週当たりの接種予定回数（3週目以降）	1000			数値入力	100-99900の回数を「100回分単位」でご入力ください。
接種開始・終了予定						
(28)	接種開始希望週	7月5日週	○		選択肢	
(29)	接種開始希望日	7月7日			カレンダー	具体的な日にちがわかればご入力ください。
(30)	接種終了予定週	9月27日週	○		選択肢	
(31)	接種終了予定日	9月28日			カレンダー	具体的な日にちがわかればご入力ください。
ワクチン納入希望						
(32)	定期納品希望曜日（第一希望）	土曜	○		選択肢	
(33)	定期納品希望曜日補足	火曜以外			テキスト入力	補足事項があればご入力ください。
(34)	初回納入希望量（接種回数）	2000	○		数値入力	100回分単位で納入予定ですが、納入量は別途ご連絡します。 （ワクチン納入をお約束するものではありません）
(35)	二回目以降納入希望量（接種回数）	1000	○		数値入力	100回分単位で納入予定ですが、納入量は別途ご連絡します。 （ワクチン納入をお約束するものではありません）
(36)	初回納入希望日	7月6日	○		カレンダー	ご希望日にワクチン納入をお約束するものではありません。
接種訓練、納品訓練						
(37)	納品訓練の希望週（実施必須）	6月14日週	○		選択肢	納品訓練は所要時間3時間程度を見込んでいますが、状況に応じて前後する可能性がある点にご留意ください。
(38)	接種訓練予定週	6月14日週	○		選択肢	
その他の納品希望						
(39)	サージカルマスク	必要	○		選択肢	※ 必要な場合、ワクチン納入数を元に次のとおり算出した枚数を接種会場に直送します。それでも足りない場合は、国又は接種会場が所在する市町村（特別区を含む）に相談してください。 枚数の算出式：接種回数÷100×7
(40)	非滅菌手袋	必要	○		選択肢	※ 必要な場合、ワクチン納入数を元に次のとおり算出した双数（ペア数）を接種会場に直送します。それでも足りない場合は、国又は接種会場が所在する市町村に相談してください。 枚数の算出式：接種回数÷接種回数÷100
(41)	N95等マスク	必要	○		選択肢	※ 必要な場合、緊急時使用備蓄として20枚を接種会場に直送します。それでも足りない場合は、国又は接種会場が所在する市町村（特別区を含む）に相談してください。

(42)	アイソレーションガウン	必要	○		選択肢	※ 必要な場合、緊急時使用備蓄として20枚を接種会場に直送します。それでも足りない場合は、国又は接種会場が所在する市町村（特別区を含む）に相談してください。
(43)	フェイスシールド	必要	○		選択肢	※ 必要な場合、緊急時使用備蓄として20枚を接種会場に直送します。それでも足りない場合は、国又は接種会場が所在する市町村（特別区を含む）に相談してください。

組織情報 (4/5)

組織の基本情報

(44)	法人番号	1234567890123			テキスト入力	法人番号は国税庁HPよりご確認ください。
(45)	組織名	株式会社○○○○	○		テキスト入力	
(46)	組織代表者名	○○ 花子	○		テキスト入力	
(47)	組織代表電話番号	03-0000-0000	○		テキスト入力	
(48)	郵便番号	1008916	○		テキスト入力	
(49)	都道府県	東京都	○		選択肢	
(50)	市区町村	千代田区	○		テキスト入力	
(51)	番地等	霞が関1-2-3	○		テキスト入力	

事務局担当者 (1)

(52)	所属組織	株式会社○○○○	○		テキスト入力	
(53)	部署名	総務部福利課	○		テキスト入力	
(54)	役職	課長	○		テキスト入力	
(55)	氏名	○○ 太郎	○		テキスト入力	
(56)	電話番号	03-0000-1111	○		テキスト入力	
(57)	メールアドレス	xxx@yyy	○		テキスト入力	

事務局担当者 (2)

(58)	所属組織	株式会社○○○○			テキスト入力	
(59)	部署名	総務部福利課			テキスト入力	
(60)	役職	課長補佐			テキスト入力	
(61)	氏名	○○ 一郎			テキスト入力	
(62)	電話番号	03-0000-1112			テキスト入力	
(63)	メールアドレス	yyy@zzz			テキスト入力	

その他 (5/5)

同意事項

(64)	接種に係る手続きで必要な場合に厚生労働省等が代行・補助することに同意するか	同意する	○		選択肢	
(65)	企業名の公表の可否	可	○		選択肢	

大学等を活用したワクチン接種の拡大方策に係る 文部科学省相談様式

大学名				
養成職種	☐ 医師 ☐ 歯科医師 ☐ 看護師 ☐ 臨床検査技師 ☐ 救急救命士			
事務連絡担当者氏名 及び連絡先	氏名			
事務連絡担当者氏名 及び連絡先 出席予定者 氏名・職名等 (全員について御記 入ください。)	職名		TEL	
	氏名			

確認事項

①学内におけるワクチン接種を開始する上で、いつからいつまで、場所、人員どのくらい協力が可能でしょうか。

期間：○月○日～○月○日

想定される場所（住所）

人員：（1日あたり提供可能な人数）医師○人 歯科医師○人 看護師○人 合計○人

接種体制：○レーン×（1時間あたり）○人×○時間×○日間

被接種者：合計○人

②学内調整事務に関する負担について、現時点で想定される課題がございましたらお聞かせくだ

さい。

(名簿の管理)

特に接種券なしでの接種を進めるとした場合の住所地外接種の処理の仕方等

(場所)

(打ち手)

(その他)

③以下のいずれかの方々への接種拡大の検討状況及び実施予定をお知らせ下さい。

○ 自大学以外の大学等・専門学校の教職員・学生等（ワクチン接種を義務化している海外の大学に、学位取得を目的とした留学を予定している者で、文部科学省より接種対象者として要請した者を含む）

○ 近隣の幼稚園，小・中・高等学校，特別支援学校などの教育関係職員

○ 近隣に所在している住民 等

④今後、被接種者を拡大するにあたって、自治体との調整事務に関する負担について、現時点で思いつく課題がございましたらお聞かせください。

(名簿の管理)

(場所)

(打ち手)

(その他)

医療系の学部等を置かない大学におけるワクチン接種体制構築の例

自大学に医療系の学部等を置かない大学においては、自前の医療スタッフを確保することに課題がある。その中、各大学における検討において、次のパターンの体制が考えられる。

1. 医療系の学部を置く他大学等との連携

- 医療系の学部を置く小規模大学や看護系の専門学校（単独では1,000人に満たず職域接種の対象とならない。）と近隣の大学等が連携し、各大学等の教職員・学生に対して職域接種を実施。（複数大学等が医療スタッフや接種会場を持ち寄る等）

2. 学内に所属する医師免許等を持つ教職員の活用

- 学内の医師免許や看護師資格等を保有する教職員（例えば、医師免許を持つライフサイエンス系学部の教員や、看護師資格を持つ養護教諭養成講座の教員等）の協力を得てワクチン接種の体制を構築し、職域接種を実施。

3. 自大学と関係する他の医療機関等との連携

- 自大学の保健管理センター（教職員や学生に対する厚生施設）の活用や、自大学に関係する医療系人材の協力、外部の医療機関との連携等により、職域接種を実施。
 - ・ 自大学の保健管理センター（医師等が所属）を活用
 - ・ 自大学が声をかけられる医療スタッフを活用
 - ・ 民間の医療スタッフ派遣業者を活用

4. 地方自治体と連携した接種

- 学生等へのワクチン接種を急ぎたいという意向を持っている自治体と連携し、大学等が会場を提供して自治体から医療スタッフの派遣を受け、近隣大学等の学生を含む職域接種を実施。

【重要】

各地域における新型コロナウイルス感染症のワクチン接種体制を拡大する観点から、各大学の施設の活用可能性等について、調査をさせていただきます。お手数をおかけしますが、大学（短期大学を除く。）においては、それぞれのキャンパスごとの回答に御協力をお願い申し上げます。

事務連絡
令和3年5月18日

各国公立大学法人担当課
大学を設置する各地方公共団体担当課
各文部科学大臣所轄学校法人担当課 御中
大学を設置する各学校設置会社担当課

文部科学省高等教育局高等教育企画課

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に対して
各大学の施設等の活用に向けた状況等について（調査）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置の実施については、各大学において適切に対応していただき、誠にありがとうございます。

現在、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が各地域において始まっているところですが、各自治体の要請に応じて、大学が接種会場になる場合（検討を行っている場合を含む）には、引き続き協力をお願いします。

加えて、既に各自治体からの要請を踏まえた協力を行っているワクチン接種体制とは別に、政府全体において、ワクチン接種体制については更なる拡大の検討が必要となっていることから、この度、ワクチン接種に向けて施設等の活用が可能と考えられる大学（短期大学を除く。）の調査を実施させていただきます。

大変御多忙の中、誠に恐縮でございますが、各大学のそれぞれのキャンパスにおけるワクチン接種への協力可能性等について、別紙1のとおり回答項目を用意しましたので、以下の留意点を御確認いただき、キャンパスごとに別紙2の回答票を作成（回答は各大学でのお取りまとめに御協力をお願いします）いただきますようお願いいたします。御多忙の折で恐れ入りますが、5月21日（金）までの回答に御協力をお願い申し上げます。

（留意点）

- ・ワクチン接種の会場としては、感染対策予防の観点から、一定の広さが必要と考えられますので、ある程度の大きさの会場（体育館、講堂、大教室（階

段教室を除く。）等）を念頭に、御回答いただきますようお願いします。

- ・また、当該会場としては、バリアフリーが担保されていることや、交通の便がよい（公共交通機関が利用可能）又は大きな駐車場が利用可能など、地域住民のアクセスが比較的容易なこと等が望ましいため、回答いただく際には、当該会場がそれらの観点も含めて御検討いただきますようお願いします。
- ・それぞれの大学のキャンパスごとに回答をお願いします。なお、回答の際は、各大学でとりまとめの上、メールにて回答票を御提出をお願いします。

なお、本調査への御回答を踏まえ、文部科学省において各大学の担当者と個別に相談・確認を行い、内容を精査の上、必要に応じて、政府部内の関係部署や各自治体に対して情報提供する可能性がありますので、予め御承知おき願います。

○回答項目（別紙１）

○回答票（別紙２）

<本件連絡先・回答提出先>

文部科学省 ０３－５２５３－４１１１（代表）

文部科学省高等教育局高等教育企画課

（内線：３３４１）

E-mail: koutou@mext.go.jp

【重要】

厚生労働省及び経済産業省より、職域接種のニーズに関するアンケート調査がまいりましたので、お送りいたします。医療従事者等の人員や、接種会場等を自ら確保いただけることを前提に、自治体によるワクチン接種とは別に、各法人において職域接種の希望がある場合、本アンケートに御協力くださいますようお願いします。

事 務 連 絡
令和 3 年 6 月 3 日

各 国 公 立 大 学 法 人 担 当 課
大学又は高等専門学校を設置する各地方公共団体担当課
各 文 部 科 学 大 臣 所 轄 学 校 法 人 担 当 課 御 中
大学を設置する各学校設置会社担当課
独立行政法人国立高等専門学校機構担当課

文部科学省高等教育局高等教育企画課

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関する
職域接種の要望確認について（調査）

各法人においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置の実施について、適切に対応していただき、誠にありがとうございます。

現在、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が各地域において始まっているところですが、厚生労働省及び経済産業省より、自治体によるワクチン接種とは別に、自ら医師等を確保いただけることを前提として、各事業者による職域接種の意向の有無等を確認するためのアンケート調査がまいりました。

大変御多忙の中、誠に恐縮でございますが、別紙 2「新型コロナワクチン予防接種についての説明書」を御確認いただいた上で、別紙 3「企業による職域接種に関するアンケート」に記載されている調査項目について、Excel ファイルの回答様式で回答いただきますようお願いいたします。国公立大学法人におかれてはその設置する大学等、大学又は高等専門学校を設置する地方公共団体及び文部科学大臣所轄学校法人におかれてはその設置する大学等、大学を設置する学校設置会社におかれてはその設置する大学、独立行政法人国立高等専門学校機構におかれてはその設置する高等専門学校の回答を各法人において、接種会場ごとにまとめていただき、以下の期日までに、回答先アドレスへの提出をお願いいたします（大学等には高校以下の学校を含みます）。

回答締切：6月9日（水）まで

回答先：daigaku-vaccine@mext.go.jp

（留意点）

- 今回の調査は、厚生労働省及び経済産業省において、各事業者がどの程度職域接種を希望するかの意向をあくまで基礎情報として調べるものであり、今回の調査への回答の有無や回答内容が今後の各法人の判断を拘束するものではなく、また、回答いただいたことをもって必ず接種が可能になるとも限りません。一方で、今後のワクチンの需要について規模感を把握する上で重要な情報となりますので、職域接種を希望する場合には、可能な限り御回答いただくようお願いします。
- 今回の調査については、職域接種の希望がある場合、かつ、自前で医療従事者等の人員・接種会場等を確保できる場合のみ回答いただくものですので、調査票の回答項目1及び2のどちらにも○がつく場合のみ回答を提出ください（両者に○がつかない場合、回答の必要はありません）。
- 接種方法や会場の数、開設時間の設定により、必要な医師数や期間が異なることから、各法人の実情に合わせ、必要な医療従事者数は算定されます。具体的な医療従事者等の数の例としては、少なくとも予診・接種に関わる者として、予診を担当する医師1名、接種を担当する医師、歯科医師又は看護師・准看護師1名、薬液充填及び接種補助を担当する看護師又は薬剤師等1名を1チームとすることが想定されます。
- 今回のワクチン接種については、1回接種当たり2,070円（税抜き、休日・夜間加算あり）の接種費用が委託契約に基づき、接種実施医療機関等に対して支払われる予定です。その費用を超えた場合の会場運営経費等については、各法人での負担となる予定です。

なお、本調査については、文部科学省において回答をとりまとめた後に、厚生労働省及び経済産業省へ回答予定です。そのため、御質問等がある場合も、まずは文部科学省へお問合せいただきますようお願いいたします。

また、既に自治体に対し、医師等の派遣や施設等の提供により、ワクチン接種に協力している法人におかれては、自治体からの要請に基づき、引き続き、適切な対応をお願いします。

- 職域接種の要望確認について【別紙１】
- 新型コロナワクチン予防接種についての説明書【別紙２】
- 企業による職域接種に関するアンケート【別紙３】
- アンケート回答様式【別紙４】
- ６月２日 新型コロナワクチン職域接種各省庁向け説明会（第１回）配布資料【別紙５】

<本件連絡先>

文部科学省 ０３－５２５３－４１１１（代表）

【調査全体の内容について】

文部科学省高等教育局高等教育企画課

（内線：３１４９，３１６２，３３４１）

E-mail: daigaku-vaccine@mext.go.jp

【国立大学法人に係ることについて】

文部科学省高等教育局国立大学法人支援課

（内線：３７６０）

E-mail: hojinka@mext.go.jp

【公立大学法人等に係ることについて】

文部科学省高等教育局大学振興課

（内線：３３７０）

E-mail: daigakuc@mext.go.jp

【学校法人に係ることについて】

文部科学省高等教育局私学部私学行政課

（内線：２５３３）

E-mail: sigaku-chousa@mext.go.jp

【国立高等専門学校機構に係ることについて】

文部科学省高等教育局専門教育課

（内線：３３４７）

E-mail: senmon@mext.go.jp